

「オンラインカジノ」 による賭博は犯罪です

インターネット上で実際のお金や電子マネーを賭けるオンラインカジノは犯罪です。スマートフォンやパソコンから簡単にアクセスでき、スロットやカードゲームだけでなく、スマートフォン用のパズルゲームのようなものやスポーツの勝敗を競うものなど多様な種類が提供されています。



まず知っておきたい「違法性」

日本国内においてオンラインカジノで賭博をすることは違法です。たとえ海外で合法的に運営されていても、**日本国内からアクセスしてお金を賭ける行為は「賭博罪」（刑法第185条）に該当します。**2024年には279人が摘発されており、警察庁の調査によると2024年時点でオンラインカジノの利用経験者は国内で約337万人に上ると推計されています。また、調査の中で利用経験者の約4割が「違法とは知らなかった」と回答しており、気軽に利用できるあまり、違法性が十分に認識されていないという深刻な問題となっています。

なぜ利用者が後を絶たないのか？

オンラインカジノは、見た目も操作も簡単で、初めは無料で利用でき、犯罪だと気付かない場合があります。ゲーム感覚で簡単に始めることができます。最近では、日本語対応のサイトやアプリも増えており、サイトを見ると右の画像のような、「お得」「簡単」「安心」といった印象を与える文句が並んでいます。



登録で**50,000円**分の
ポイントプレゼント

365日日本語チャットで安心！

本人確認無しで即プレイ可能

こうした文句は利用のハードルを下げ、「一度だけなら…」という軽い気持ちで始めてしまう人が少なくありません。一度始めると、勝ったときの興奮や負けたときの悔しさが繰り返され、のめり込んでしまう構造になっています。「あと1ゲームだけ」、「負けを取り返したい」といった心理が働き、気付けば抜け出せなくなっているケースも見られます。いつでもどこでもアクセスできることから、ギャンブル依存症のリスクや、多額の金銭的な損失を被るリスクがあります。また、入出金に伴い、個人情報漏洩や、詐欺被害にあう恐れもあります。

家庭での指導

「たとえ海外のサイトでも、日本からアクセスしてお金を賭けるのは法律違反であること」、「知らなかったでは済まされないこと」を子どもに明確に伝えることが重要です。また、オンラインカジノを紹介するサイトや動画には、「安全」「儲かる」「違法性はない」といった説明が並ぶことがあります。そうした情報を鵜呑みにしてはいけなことを伝えましょう。

特に、子どもが小学生の場合、オンラインカジノをゲームの一種と誤って認識してしまうことがあります。そのため、「これはゲームのように見えるけど違法なんだよ」と難しい言葉ではなく、学齢に応じた言葉で伝えることが大切です。

また、「自分は大丈夫」と思い込まず、少しでも不安を感じたらすぐに大人に相談するよう日頃から伝えておくようにしましょう。